

■投稿規定■

本誌より執筆を依頼した場合以外に下記の規定により投稿を受け付けます。

1. アレルギーおよびそれと深い関連を有する事項の研究業績に関する原著を原則とします。掲載の可否は「アレルギー・免疫」編集委員会にて査読し、審査決定します。
2. 原稿は400字詰原稿用紙20枚以内、ワープロの場合は8,000字以内でいずれもB5またはA4の大きさ(但し、論文末に総文字数を明記)、図表・写真は合計10点以内とし、要旨(和文300字以内)、キーワードを3~4語付記して下さい。
3. 投稿論文については、全ての著者は当該論文にかかわる経済的利得関係(利益相反)の有無を論文の末尾に、下記の要領に準じて明記して下さい。

【例1】経済的利得関係を有する場合

「謝辞：本誌掲載にあたっては、〇〇株式会社より支援を得た。深謝いたします。」

【例2】経済的利得関係のない場合

「本論文について：本誌掲載にあたっては、著者に特筆すべき経済的利得関係はない。」

4. 投稿料として下記の料金を申し受けますが、純然たる個人業績で「アレルギー・免疫」編集委員会が認めた場合は、投稿料は別途考慮します。

組上がり1頁35,000円(図表製版代は実費)

5. 原稿の掲載号、順序などは編集部にお任せ下さい。
6. 原稿は本原稿とコピー原稿の2部を送付、送付先は下記のとおりで、封筒の表に「アレルギー・免疫、投稿」と朱書きし、簡易書留で郵送して下さい。

〒541-0047 大阪市中央区淡路町3丁目1番5号

淡路町ビル21

株式会社 医薬ジャーナル社

「アレルギー・免疫」編集部宛

7. 本誌に掲載した論文の無断転載および複製利用を禁じます。

■執筆要項■

1. 原稿は楷書、横書、平かな、新かなづかいとし、正確に句読点をつける。
2. 論文中たびたび繰り返される用語の代わりに略語を用いる場合は、初出時にフルスペルまたは正式和名を記載した後、()内に記す。
3. 外国語、外国人名、地名は原語のまま活字体で書

き、薬品名は原則として一般名を片カナで表記する。固有名詞および文頭にきた語句のみ最初の1字を大文字とし、他は小文字とする。外国語で一般に日本語化しているものは片カナで表す。

4. 図、表、写真はそのまま製版できる明瞭なものを原則とし、本文とは別に添付する。図、表、写真には読みとるべきポイントが分かるような解説を必ず付けること。なお、特に引用・転載許可の必要な図、表、写真などについては、許可済みの状態にて送稿する。
5. 文献は本文に用いられたもののみをあげ、引用番号は本文の引用順とし、本文中の引用箇所には必ず肩番号を付すこと。また、文献の書き方は下記のように統一し、欧文雑誌の略名は最近のIndex Medicusに従うこと。〈雑誌〉著者氏名：題名。誌名 巻数：頁-頁，西暦発行年。〈書籍〉著者氏名：題名。書名 版数(編者)，発行所名，発行地，西暦発行年，頁-頁。

引用文献の著者氏名、編者氏名は、3名以内の場合は全員を書き、4名以上の場合は3名連記の上、「-ほか」あるいは「- et al」を付記する。

文献の表題は、副題を含めてフル・タイトルを記すこと。以下の例に従って誤りのないよう注意すること。

【例】

- 1) 谷口正実，東 憲孝，小野恵美子ほか：アスピリン喘息と性差。アレルギー・免疫 15：68-73，2008。
- 2) 奥田 稔：アレルギー性鼻炎の概念。鼻アレルギー 改訂版，医薬ジャーナル社，大阪，2005，p16-21。
- 3) Yamauchi N, Ito K, Suko M, et al: IgG₂-antibodies block IgE antibody-induced asthma in guinea pigs. Allergy Appl Immunol 80：76，1986。
- 4) Simon RA: Allergic and other adverse reaction to food. Bockus Gastroenterology (Berk JE et al, ed), W.B. Saunders, Philadelphia, 1985, p4435-4447。
6. 原稿には表紙を付し、表題、著者名、所属機関名、原稿枚数、図表点数を明記する。
7. 著者校正は1回とし、訂正は誤植、印刷上のミスによるものに止め、加筆はさける。